

新型コロナウイルス感染症対策下における学校教育について ～ICTを活用した教育の推進について～

○ 一人一台端末の整備

令和2年度に、公立の全ての小・中・義務教育学校、高等学校、特別支援学校に整備を完了

○ ICT活用推進モデル校での研究

ICT活用推進モデル校	
小学校	大館城南、船川第一、湯沢西、
中学校	能代第一、大潟、横手南
高校	大館国際情報、秋田、横手清陵
特支	聴覚支援、横手支援

校種ごとにモデル校を指定してICTの活用を支援
→実践と研究の成果を
全県で共有

○ 家庭での学習環境整備を支援

県立高校では、端末を持ち帰って学習できるように、Wi-Fi環境がない家庭にルーターを貸与

○ 教員のICT活用指導能力の向上

- ・ 県立高校のICTに長けた教員6名をICT活用推進委員に任命
→講師として各高校で教員研修を実施
- ・ 総合教育センターのICT活用の研修メニューを充実

文化財の保存と活用について

○ 秋田県文化財保存活用大綱を策定

令和3年3月に、文化財の保存と観光や地域づくりへの活用について、本県の基本的な方向性をまとめた。

その中で、指定文化財だけでなく、自然と文化資源の中から、守るべき「秋田の宝」を発掘する方針を示した。

○ 秋田県の郷土食調査事業を開始

継承が困難になりつつある本県の郷土食の保存と活用を図るため、県内の現況を把握し、文化財的価値を明らかにする。



- ・ 調査期間：令和3年度～5年度